

令和 7 年度学校評価自己評価表（評価計画）

A：100%以上 B：90%以上 C：80%以上 D：80%未満

廿日市市立佐方小学校

評価計画							自己評価					改善方策	学校運営協議会 委員評価コメント
中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための 具体的方策	評価項目・指標	目標値	昨年度 数値	分掌	中間 10月	達成度 (10月)	最終 2月	達成度 (2月)	評価		
【確かな学力・学び続ける力】 ・課題の解決に向けて、自ら考え、表現する力を身に付ける。	◎「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくり	・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る授業づくり ・ICTを活用した授業づくり	<全国学力・学習状況調査児童質問紙> 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む児童の割合【市共通項目】【中学校区共通項目】	85%	91.0%	教務							
			<算数科における思考・判断・表現> ・算数の廿日市市学力定着状況調査の「思考力・判断力・表現力の観点の問題による評価において、全国平均を上回る学年の割合	100%	—								
			<ICTの活用> ・タブレットを授業の中で、ほぼ毎日活用している。（3学年以上）	70%	41.8%								
【豊かな心】 ・向社会的行動を行い、良好な人間関係を築く力を身に付ける。	◎生徒指導の三機能を意識した集団づくり	・人と関わるよさを感じる取組 ・いじめ・不登校への積極的な取組	<向社会スキル> 「相手の気持ちになって考えたり行動できたりする」で肯定的な評価をした第3学年以上の児童の割合（アセス「向社会スキル」の項目）	90%以上	81.5%	生徒指導							
			<居場所感アンケート> 「自分のクラスは安心した気持ちになる」で肯定的評価をした第3学年以上の児童の割合（居場所感アンケート「精神的安定感」の項目）	95%以上	95.0%								
【体力の向上・安全】 ・災害の危険を理解し、安全な行動ができる。 ・主体的に体を動かし、体力を向上させる。	◎安全な行動や危険を回避する行動の仕方を学ぶ機会を設定する。 ・新体力テストの課題を解決するための場づくり	・主体的に取り組む避難訓練の実施 ・握力向上への取組	・事前予告あり・事前予告なしの避難訓練後のアンケートの実施 『移動の時、「おはしもて」はできたか。』『集合場所に落ち着いてすばやく行けたか。』『集合場所は知っているか。』	3項目で100%	—	健康教育							
			・年2回（5月・1月）の体力テストを実施し、握力の平均値を調べる。	1回目より2回目の記録が伸びた児童が80%以上	—								
【風通しのよい職場づくり】 子どもと向き合う時間を確保して、教育の質の向上に努める。	◎子どもと向き合う時間を確保するため、組織として業務の効率化	・業務改善と見直しによる時間の確保 ・早めに退校する日の設定	<子どもと向き合う時間> ・以前に比べ、業務改善や業務の見直しが進んでいると感じている教職員の割合	90%以上	97.1%	総務							
			<効率的な働き方> ・月の平均時間外勤務時間が、前年度の同月より下回る割合	80%	—								